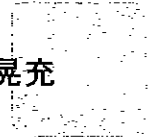


椎建管発第 19号
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 殿

宮崎県東臼杵郡椎葉村

椎葉村長 椎葉 晃充



今後の道路行政についての意見・提案について

平素より、道路行政におきましてご指導をいただき、厚くお礼申し上げます。
道路行政についての意見を別紙の通り提出いたします。
よろしく申し上げます。

椎葉村建設課土木係
TEL 0982-67-3207（直通）
FAX0982-67-3930

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

宮崎県椎葉村

中山間地域特有の急傾斜であるため、事業費が多くなるが、中山間地域で暮らす住民にとっては、道路のみが唯一の生活道路、産業道路である。このことを踏まえ、道路特定財源が一般財源となっても財源の確保をお願いしたい。

官公庁(役場)まで、二車線化されてない路線については最優先に整備をお願いしたい。

道路事業計画においては、費用対効果を優先している。当然無駄を省いたり、効果が上がらないものについては見直しをしなければならないが、人口の少ない山村においては、工事費は増大し、交通量などの費用対効果の見込みは期待できない。都市部と、山間部での費用効果は見直して事業配分を行ってほしい。

災害復旧事業全般については国庫負担法で定められているが、県に移行することはできないだろうか。市町村の道路等の事情は把握しているし、被害後の査定など早く対応できると考える。住民にとっては早急な復旧が一番である。また、査定時の財務省の立ち会いについても技術職員(査定官)が行っているので、省略することにより事務作業も軽減できる。

②-1 地域の現状と抱える課題

宮崎県椎葉村

○現状

①本村には、国道3路線(265号、327号、388号)と県道1路線がある。県内において、県庁より役場まで二車線になっていない町村は2村(椎葉村、西米良村)のみである。

②農林産物の輸送コストの負担が大きい。

③緊急医療(急患)輸送に時間がかかるため、空輸に頼るところが大きい。

④道路事情が悪いため、高校(近隣の市町村)へは通学できず、寮、もしくは下宿生活となり教育費に負担がかかる。

⑤台風災害時に孤立する。

○課題

①公道4路線は、いずれも村外に通じる重要な道路であるが、二車線化になっていない。現在、265号線、327号線とも改良施工中であるが、計画期間の5カ年分しかないため、全体のいつ頃の開通年度さえわからない。

②道路の急カーブ、離合場所も少ないため市場までの輸送コストと品質の劣化が著しい。

③空輸の場合は、天候に左右される場合がある。

④高校まで遠隔ではあるが、場所によっては通学可能となる。

⑤本村は16年、17年と未曾有の台風災害を被り村道は勿論のこと国道さえも寸断され村自体が孤立した。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

宮崎県椎葉村

②-2 地域の目指すべき将来像

官公庁(役場)までの二車線化により②-1の課題は全て解決される。逆に人口流失が懸念されるところもあるが、メリットが遙かに大きい。
役場から各集落への幹線道路整備は1.5車線の整備で充分である。